



四国だより

2026.1 第4号



一般社団法人 日本道路建設業協会四国支部

支 部 長 挨拶

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
一般社団法人日本道路建設業協会四国支部の支部長を務めさせていただきます岩崎と申します。

協会員の皆様におかれましては、常日頃より当協会の活動にご支援とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

当四国支部としても引き続き道建協本部と地方整備局での災害協定に基づき関係機関や業界団体等との連携を密にし、緊張感をもって対応してまいります。

当協会の四国支部は13社を擁する団体として「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」の3つを基本方針として活動してきました。

さて四国支部事業活動についてはR5年度から新たな社会貢献の推進としてスタートした子育て応援施設等の整備を支援R7年度は道の駅みまへ寄贈。また、道路清掃等を通じた社会貢献活動、災害対策への対応として防災支援体制の整備、防災訓練の実施をおこなっております。さらに、道建協本部主催講習会等への支援としてi-Construction技術講習会の開催や舗装施工管理技術者及び舗装診断士資格試験の実施も行っております。

四国支部主催講習会の実施内容については、コンプライアンス活動として講習会の開催、支部会員会社の専門知識を持った技術者が講師となり、若手技術者に発表させる道路舗装技術に関する四国地方整備局とのWeb技術講習会の開催。また今年度においては本部の最新舗装技術の紹介を追加して、自治体、学生、コンサルタント会社にも参加していただき支部独自の活動も進めています。また会員会社による合同安全パトロールの実施、四国地方整備局等との意見交換会を事業活動としています。

一方、道路建設業界は、人手不足の深刻化やインフラの老朽化といった大きな課題に直面しています。近年、デジタル化の進展や労働時間管理の徹底により労働環境の改善は着実に進んでいます。しかし、他産業との人材獲得競争や少子高齢化の影響により、依然として若手人材の確保が困難であります。その環境下で、日本の道路インフラは老朽化が進んでおり、維持管理や耐震化・更新の需要が高まりつつあります。これらの課題に対し、最新のAI技術や知見を導入し点検維持修繕管理の業務効率化・自動施工等を促進し、「安全・安心な道路を次世代へ繋ぐ」という使命感を支える体制を構築していくことで、持続可能で魅力ある業界への転換を図っていきたいと考えております。

最後に会員各社皆様の今後益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



支部長 岩崎 秀紀
(日本道路株式会社四国支店 支店長)

幹 事 長 挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2025 年は、二度の自民党総裁選での敗戦を乗り越え、憲政史上初の女性首相として高市早苗氏が第 104 代内閣総理大臣に就任されました。就任会見では、長年にわたる公明党の協力への感謝を述べるとともに、日本維新の会との政策合意に基づき、日本を再起させるため全力を尽くす決意が示されました。また、高市総理はフォーブス誌「世界で最もパワフルな女性 100 人」において第 3 位にランクインし、その決意表明から発せられた「働いて働いて働いて働いて、働いてまいります」という言葉は、年間流行語大賞にも選ばれました。こうした動きから、社会全体に期待感と活気が広がっているように感じられます。



一方で、物価高は原材料価格の世界的な上昇、急速な円安、人件費の上昇、そして長年のデフレ構造からの転換などを背景に、依然として収束の兆しを見せておりません。特に、食料品やエネルギー、建設資材など国際取引量の多い品目では、価格変動の影響が大きくなっています。今後も物価は上昇基調が続くと見込まれるものの、その勢いは次第に緩やかになるとされていますが、我々道路建設業の事業活動には引き続き大きな影響を及ぼし、厳しい状況が続くものと予想されます。

また、「2025 年 7 月 5 日に日本で大きな地震が起きる」といった噂が SNS 等で拡散され、航空便が運休する事態も発生しました。幸いにも大きな被害には至りませんでした。9 月にはカムチャツカ半島付近、12 月には青森県東方沖で大きな地震が発生しました。

さらに、昨年は大規模な山林火災も相次ぎ、愛媛県今治市の山林火災では、現在もなお火災の傷跡が残り、当時のすさまじさを思い起こさせる状況となっています。こうした自然災害に対しては、さまざまな対応が求められますが、何よりも各地の建設会社による迅速な対応によって、社会インフラをいち早く復旧することが重要であります。

我々道路建設業は、人々の日常生活や経済活動の大動脈とも言える道路の建設・維持・修繕を担っており、地震や台風、大雨などの自然災害発生時には、復旧作業を通じて住民の皆様の生活を支える不可欠な存在であります。そのため、この産業を衰退させるわけにはいかないという強い自覚のもと、当協会では、次世代の担い手確保に向け、週休二日の実現をはじめとする働き方改革や、i-Construction 事業の推進による生産性向上に引き続き取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026 年の干支である「丙午（ひのえうま）」は、情熱や変化を象徴し、物事が大きく広がるエネルギーに満ちた年といわれております。会員各社の皆様がこれまで尽力されてきた取り組みが大きく花開き、さらなる発展を遂げられますこと、また、関係者の皆様のご健勝とご活躍、そして本年が多くの方々にとって実り多い一年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

幹事長 日比野 忠臣

(大林道路株式会社四国支店 支店長)

【支部活動】 支部定時総会の開催

一般社団法人日本道路建設業協会四国支部は、令和7年6月17日(火)にJ Rホテルクレメント高松において第60回定時総会を開催しました。本部からは、西田会長他3名の理事にご出席いただきました。

初めに岩崎支部長が開会挨拶を行い、続いて西田会長よりご挨拶をいただきました。



岩崎支部長 開会挨拶



西田会長挨拶

支部運営規則の規定により岩崎支部長が議長となり、12社出席、委任状提出1社により総会は適法に成立することが報告され議案審議に入りました。

事務局より、議案第1号「令和6年度事業報告(案)」、議案第2号「令和6年度決算(案)」について説明し、会計監事による監査報告が行われました。議長より、議案第1号及び議案第2号について承認を求めたところ、異議なく承認されました。

次に、事務局より令和7年度事業計画、令和7年度予算について報告を行いました。

次に、議案3号「役員選任の承認」が上程され、事務局の説明後、異議なく承認され支部総会は終了しました。

支部総会に続いて技能社員表彰の伝達式を行い、西田会長より表彰状及び記念品が授与されました。



【支部活動】 舗装技術者資格試験の実施

一般社団法人日本道路建設業会では、舗装技術者資格試験として「１級・２級舗装施工管理技術者」と「舗装診断士」の試験を実施していますのでご紹介します。

毎年、６月の第四日曜日に道建協１０支部の管内ごとに試験が実施されており、各支部が試験会場の設営、試験監督を担っています。

１）「１・２級舗装施工管理技術者」は、平成７年に創設されました。

資格の概要としては、舗装工事に携わる技術者の技術水準および能力を適正に評価することによって、舗装工事の品質確保を図ることを目的としています。

令和７年度までに１級・２級あわせて３１２,７２４人が受験し、７９,４７１人が合格されています。

２）「舗装診断士」は、平成２９年に創設されました。

資格の概要としては、既設舗装の調査・評価 および維持修繕工法の選定・設計、補修計画策定の支援であり、必要に応じてネットワークレベルでの補修計画策定支援も行うことを目的としています。

本資格は、国土交通省技術者資格登録の「舗装」分野として、平成３０年２月に「点検」・「診断」、令和６年２月に「計画・調査・設計業務」が登録されています。

令和７年度までに１２,４７７が受験し、２,４９４名が合格されています。

四国支部においては、令和７年６月２２日(日)に高松センタービルにて実施しました。

１級舗装施工管理技術者	受験申込者数	１１２人
２級舗装施工管理技術者	受験申込者数	４３人
舗装診断士	受験申込者数	３８人



【支部活動】 道路建設意見交換会の開催

一般社団法人日本道路建設業協会は、令和7年8月5日(火)にJRホテルクレメント高松において、四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、西日本高速道路(株)四国支社及び本州四国連絡高速道路(株)との道路建設意見交換会を開催しました。

意見交換会は協会から提出した議題について、発注者である四国地方整備局等から回答をいただき、その意見交換をととして道路建設業界の要望をお伝えできる機会となっています。

【意見交換の議題】

1. 公共工事予算の安定的・持続的な確保
2. 道路舗装工事における労働環境の改善と担い手確保
3. 道路舗装工事における i-Pavement と新技術開発の推進と普及
4. 入札・契約制度の改善
5. 舗装工事積算の改善
6. 道路舗装のメンテナンスサイクルの確立
7. 無電柱化の推進
8. その他(アスファルト合材プラントの配置、各道路管理者との協定、社会貢献活動、若手職員等への工事表彰制度の実施)

【主な出席者】

日本道路建設業協会 : 西田会長、石井副会長、海野副会長、森下副会長
岩崎四国支部長、日比野四国支部幹事長 他

四国地方整備局 : 豊口局長、若尾企画部長、福本道路部長

徳島県 : 谷川県土整備部建設管理課長

香川県 : 生田土木部長

愛媛県 : 橋本土木部長

高知県 : 小松土木技術監兼建設検査長

西日本高速道路(株)四国支社 : 池副支社長

本州四国連絡高速道路(株) : 田村坂出管理センター所長



西田会長挨拶



豊口局長挨拶

【支部活動】 社会貢献活動 道路清掃等ボランティア

88クリーンワーク四国実行委員会が主催する四国の道路を一斉に清掃する「88クリーンワーク四国」は今年で23回目を迎えました。令和7年8月8日に「自由コース」のみで実施され、会員会社において清掃活動を実施していただきました。



大成ロテック株式会社四国支社



東亜道路工業株式会社四国支店



株式会社NIPPO 四国支店



株式会社ガイアート四国支店他



鹿島道路株式会社四国営業所



日本道路株式会社四国支店



大林道路株式会社四国支店



前田道路株式会社 四国支店

【支部活動】社会貢献活動 道の駅への授乳施設の寄贈

一般社団法人日本道路建設業協会は、令和5年度より一般社団法人全国道の駅連絡会と連携し国土交通省が推進する道の駅「子育て応援」施設の整備支援として、令和7年度を目標年度として全国の道の駅のベビーコーナー設置率50%以上を目指す取り組みを実施しています。

具体には、全国の道の駅へ強化段ボール製の簡易型授乳室と授乳チェアの寄贈を行っており、令和5年度は45駅へ、令和6年度は53駅へ、令和7年度は44駅(予定)へ寄贈を行います。

令和7年度、四国支部では愛媛県宇和島市にある「道の駅 みま」に寄贈を行いました。

■道の駅 みま

- ・ 日 時 令和7年11月20日(木)
- ・ 出席者 宇和島市 岡原宇和島市長、酒井産業経済部商工観光課課長
篠崎産業経済部商工観光課課長補佐
四国地方整備局 須田大洲河川国道事務所長
道の駅 みま 岩本支配人
四国支部 岩崎支部長、日比野幹事長、(株)愛亀 町田部長
圖子事務局長



左から岡原市長・岩本支配人・岩崎支部長



寄贈式会場「道の駅みま」

「道の駅みま」は、地元の版画家である畦地梅太郎記念美術館と、農機具開発の父である井関邦三郎記念館が併設された全国的にも珍しい道の駅です。宇和島市では、地域に根ざした芸術と文化の振興を取り入れた交流拠点として賑わいの創出に取り組まれており、私どもの授乳室が、子育てお母さんのお出かけ時の悩みを緩和し、また災害発生時などにおいては地域住民の方々に安心を提供する一助になればと思います。

【支部活動】 建設フェア四国2025 in 松山

令和7年11月21日～22日の両日、アイテムえひめ(松山市)にて「建設フェア四国2025 in 松山」が開催されました。松山での開催が18年ぶりとなる今回、約100の企業・団体がブースを出展し、インフラDX、防災、維持管理などの最新技術を紹介するとともにプレゼンテーションなどが行われ、四国支部からは8社が出展されました。



オープニングセレモニーの様子



鹿島道路株式会社 四国営業所
重交通に対応可能な全天候型常温緊急補修材



大林道路株式会社 四国支店
ミチレスQ（発炎筒補完製品）



前田道路株式会社 四国支店
アスファルト舗装の常温補修材に関する技術



株式会社ガイアート 四国支店
事故対策・凍結抑制舗装



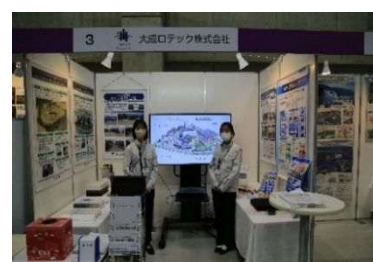
東亜道路工業株式会社 四国支店
床版防水性能を有する舗装



株式会社NIPPO 四国支店
ECOフォームド(中温化アスファルト混合物)



日本道路株式会社 四国支店
バイオ炭アスコン・スーパーPETアスコン



大成ロテック株式会社 四国支社
インジェクト工法（CAモルタル充填工法）

会場では、キッズも楽しく学べるイベントをはじめ、豪雨体験や土石流3Dシアターにより災害を疑似体験できるコーナーや、災害時におけるキャンピングカーを用いた訓練の一般公開など多くのイベントが催されました。

【支部活動】 安全パトロールの実施

道建協四国支部では四国地方整備局の工事現場において安全パトロールを実施しています。安全パトロールの目的は、他社の視点で点検しその情報を共有することです。

- ① 安全環境委員が他社の現場をパトロールし点検する。
- ② 是正事項があればその場で指示し、是正報告書を支部安全環境委員会へ報告する。
- ③ 安全管理の好事例を支部安全環境委員会へ報告する。
- ④ 好事例・是正事例については、安全環境委員会で取りまとめ支部会員へ情報共有する。
- ⑤ 四国地方整備局との技術交流会の場において情報共有する。

令和7年度においては下記の7現場において安全パトロールを実施しました。

番号	箇所	施工会社名	工事名	施工場所	点検者			実施日
					所属会社	役職	氏名	
1	徳島県	NIPPO	令和7年度 国道11号鳴門地区コンクリート舗装外工事	鳴門市撫養町	鹿島道路㈱四国営業所	専門部長	水田 英幹	R7.12.9
					東亜道路工業㈱四国支店	工事課長	石崎 俊男	
					日本道路㈱四国支店	安全環境品質部長	野村 茂輝	
2	香川県	大旺新洋㈱	令和7年度 大内白鳥BP白鳥地区舗装工事	東かがわ市	鹿島道路㈱四国営業所	専門部長	水田 英幹	R7.12.9
					東亜道路工業㈱四国支店	工事課長	石崎 俊男	
					日本道路㈱四国支店	安全環境品質部長	野村 茂輝	
3	香川県	ガイアート	令和6-7年度 大内白鳥BP帰来地区舗装工事	東かがわ市	鹿島道路㈱四国営業所	専門部長	水田 英幹	R7.12.9
					東亜道路工業㈱四国支店	工事課長	石崎 俊男	
					日本道路㈱四国支店	安全環境品質部長	野村 茂輝	
4	香川県	前田道路㈱	令和6-7年度 豊中観音寺弘福本山甲地区外電線共同溝工事	観音寺市	大成ロテック㈱中国支社	安全環境部長	木下 一男	R7.12.16
					大旺新洋㈱高知土木本店	舗装部長	柿本 幸治	
5	愛媛県	日本道路	令和6-7年度 今治道路朝倉IC舗装工事	今治市	大成ロテック㈱中国支社	安全環境部長	木下 一男	R7.12.16
					大旺新洋㈱高知土木本店	舗装部長	柿本 幸治	
6	高知県	大林道路	令和7年度 国道55号川北地区電線共同溝工事	安芸市	㈱ガイアート四国支店	安全品質環境部長	今田 公登	R7.11.28
					㈱NIPPO 四国支店	舗装事業部長	山本 雅也	
7	高知県	東亜道路工業	令和7年度 土佐管内舗装修繕(その2)工事	大豊町	大林道路㈱四国支店	安全・品質環境部長	高橋 直樹	R7.12.5
					前田道路㈱四国支店	副支店長	原 真二	



【支部活動】 i - Construction 技術講習会

一般社団法人日本道路建設業協会と四国地方整備局は、令和7年12月10日(水)に四国地方整備局四国技術事務所において、舗装 i-Construction 技術講習会を開催しました。

平成28年度に i-Construction が土工事に導入され、平成29年度には ICT 舗装工事として直轄工事で発注され始めたことを受け、日本道路建設業協会では平成29年度から地上型レーザースキャナー(TLS)を用いた測量と出来形管理に関する技術講習会を全国で開催しています。

講習会は日本測量機器工業会にご協力いただき、実習では3台の実機に触れながら、TLSの鉛直・平面制度の確認方法や出来形計測を体験していただきました。

■講習内容

1. 四国地方整備局のi-Constructionの取組【座学】
2. 舗装のICT施工技術【座学】
3. 地上型レーザースキャナ(TLS)を使った測量と出来形管理（日本測量機器工業会）
 - ① 【座学】 3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編」等の解説
 - ② 【座学】 ICT活用工事（舗装工） 5つのプロセスとソフトウェアの説明
 - ③ 【実習】 TLSの精度確認試験（鉛直精度、平面精度）
 - ④ 【実習】 TLSによる出来形計測
 - ⑤ 【座学】 レジストレーション、TLSの精度確認結果の解説
 - ⑥ 【座学】 3次元設計データの作成、3次元点群データの処理
3次元出来形の施工管理と3次元データの納品
 - ⑦ 【座学】 i - C o n F A Q解説



四国技術事務所 白川副所長挨拶



座学の受講状況

3次元設計データの作成、
3次元点群データの処理に
ついて説明



3台の実機を使用した実習

【支部活動】 道路舗装に関するWeb技術講習会

四国支部では、令和4年度より四国地方整備局と協働で道路舗装に関するWeb技術講習会を開催しています。今年度は4回目の開催となり、令和7年12月12日(金)に四国地方整備局災害対策室において開催しました。

講習会のポイント

- ① 多くの方が参加できるよう、四国地方整備局災害対策室からテレビ会議システムを利用して配信しています。また、四国地方整備局より大学へ参加者の募集を行っていただきました。

また、今年度は四国4県、本四高速・NEXCOの職員にも参加いただきました。

応募者数	四国地方整備局職員	86名
	自治体職員	27名
	技術系大学生	4名
	本四高速・NEXCO	6名
	建設コンサルタント協会	24名
	道建協四国支部会員	27名

- ② 講習会は受講者の皆様に興味を持っていただけるよう、講師が実際に担当した切削オーバーレイ工による修繕工事、グースアスファルト舗装施工の動画を見ながら工事手順や留意点の解説を行っていただきました。

令和7年度講習内容

- ・舗装の設計・施工・維持管理と最近の技術 世紀東急工業㈱技術本部
- ・道路舗装の修繕工事(動画) 東亜道路工業㈱四国支店



世紀東急工業㈱ 柳沼さん



東亜道路工業㈱ 吉田さん、辻さん



岩崎支部長 講評



会場全景

会社紹介 株式会社 愛亀

愛媛県松山市に本社を置く、(株)愛亀です。

昭和32年4月に創業以来、舗装工事を中心に建設資材の販売、管路メンテナンスや技術開発を行っています。

株式会社愛亀の海外プロジェクトは、独立行政法人国際協力機構（以下 JICA と示す）の中小企業・SDGs ビジネス支援事業の支援を受けながら、2014 年のカンボジアから始まりました。

その後、中央アジアのキルギスへ対象を移し、技術移転を主目的とした形態で進め、令和7年度に第8回 JAPAN コンストラクション国際賞を受賞いたしました。



海外への技術移転は、カンボジア国での JICA 中小企業支援事業から始め、2 カ国目のキルギス国で行いました。

キルギス国の最初は、実施中の JICA の技術協力プロジェクト（以下、技プロと記す）内のセミナーにて、技術紹介を行い、その後、運輸通信省（以下、MOTC と記す）より、要望が JICA キルギス事務所へ発出され、弊社はその要望に応えるべく、JICA の中小企業支援事業にて技術移転をすることになりました。また、ビシケク市（キルギス国首都）からも技術移転の要請レターが発出されたので、MOTC に加えビシケク市管轄の道路公社へも技術移転を実施しました。

技術移転は、先にエンジニア向けの技術セミナーにて、材料の特性を紹介するところから始め、各機関が保有しているアスファルトプラント（以下、ASP と記す）にてエクセル・パッチが製造できるように一部改修を実施します。

エクセル・パッチの製造は、通常使用の骨材と TA バインダー（エクセルパッチのコア材）の配合を室内試験により確認し、改造した ASP で製造したキルギス製のエクセル・パッチを試験施工・経過観察まで行いました。カウンターパートである MOTC の ASP で製造したキルギス製のエクセル・パッチは、キルギスの規格を確認する検査機関に試験を依頼し、キルギス規格を満足していることを確認しております。

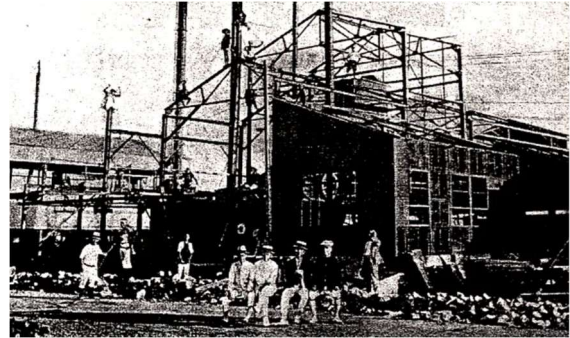
海外展開の今後として、弊社の舗装マネジメントシステムにおける全天候型舗装補修材の位置付けは、舗装の初期に発生するポットホールの迅速な補修を対象にしています。弊社では、道路の損傷具合に合わせた技術の提供が可能となっており、装補修材の事業展開を進めつつ、対象国のニーズや案件の情報収集により、次のステップの営業活動も行い展開を進めていく予定です。この先も大きな可能性を感じる海外で、いつかは「日本の Glocal なインフラの町医者」として認めていただけるよう努めて参ります。

会社紹介

前田道路株式会社 四国支店

弊社は1925年3月、アスファルト舗装専門の下請業者として土木工事業を起業し、2025年3月に創業100周年を迎えました。100年にわたり日本各地で地域に根ざした拠点を数多く築き、営業所を約100カ所、合材工場を約90カ所、全国各地に拠点を構えています。

〈創業当時の写真〉



〈新四国支店エントランス〉



四国支店は四国4県に7営業所・4合材工場、2製造販売所を構えており、26年に渡り慣れ親しんできた香川県高松市亀井町を離れ、2025年2月に高松市サンポートの高松シンボルタワーへ移転しました。

今回は四国支店の特徴である社会貢献活動、及び若手技術者勉強会・現場見学会の取り組みについて紹介します。

●社会貢献活動

CSR活動及びSDGsの環境保全活動の一環として四国内の様々なボランティア活動に毎年従事しています。2025年度は鳴門フラワーサポーター（花の植え替え）、一級河川一斉清掃（吉野川・土器川・重信川）、国営讃岐まんのう公園パークボランティア、88クリーンウォークなどの活動を行いました。

早朝からの活動が多く、夏場は汗だくになりながら、冬場は寒さに耐えながら続けてきました。今後は更に積極的にボランティア活動へ力を入れていく予定です。

〈88クリーンウォーク〉



〈国営讃岐まんのう公園にて〉



●若手技術者勉強会・現場見学会

《若手技術者勉強会》

普段目にする事の無い施工機械や特殊材料、工法などを用いた現場で若手技術者を集めて勉強会を定期的に行っています。施工管理についての知識を深め、自身のスキルアップ、また仕事へのモチベーション向上を目的としています。

《現場見学会》

現場近隣の学生を招いた現場見学会や弊社女性事務員を対象にした現場見学会などを実施しています。学生を対象とした見学会では、建設業の魅力をPRし、今後の進路の参考にしてもらうために企画しました。また、弊社女性事務員を対象とした見学会では、施工現場を体験することの無い女性事務員に現場の大変さを知ってもらうとともに、女性目線で様々な意見を出してもらい現場に活かすことが出来ました。

〈若手技術者勉強会の様子〉



〈女性事務員現場見学会の様子〉



弊社は2025年度より完全週休2日制を導入し、常に新たなチャレンジを続けています。当支店でも様々な取り組みを実施し、地域に根ざした活動を続けて参ります。

わたしの好きなこと！

(株)愛亀 道路事業部 松山事務所所属の岡ひとみと申します。

建設ディレクターという新しい職域を知り、興味を持ったことが入社のかっけです。建設業に関わる仕事自体は過去に事務職の立場で携わったことがあります、ヘルメットを被り現場に行くことはとても新鮮で勉強になっています。知らない用語や内容も多く、まだまだ学ぶことの多い毎日ですが、着実に自分のものにしていきたいと思ひます。



さて、ここからは私の好きなこと、休日の過ごし方について書いていきたいと思ひます。私の好きなことは「食ひること」です。美味しいものが大好きで、食に關すること全般に興味があり、出掛けた先で産直市の商品を見るのも楽しみのひとつです。普段良く読む時代小説も、食に絡んだものが多いです。今、一番氣に入っているのは坂井希久子著の「居酒屋ぜんや」シリーズで、江戸時代の庶民の料理など想像しながら、ヨダレが出ることも…。

実家は父が農業をしているので、休日は兄弟と手伝っています。地味な作業が多く、時に天候や害獣の影響で思ひたほど収穫量がなかったりで大変なしんどさを実感することもあります、そのぶん美味しい野菜やお米が収穫できたときの達成感は一しおです。また、そうやってできた自家栽培の作物で作ったトマトケチャップやさんざしジャムなどを、家族やお裾分けした人と美味しいね！と言いながら食ひるひとときが私にとって一番嬉しい時間です。



会員だより 前田道路株式会社 四国支店 水江有紀

～地元民から愛されるローカル電車～

私は、生まれも育ちも香川県です。様々な観光スポット、おいしい食べ物など、皆さんへ紹介したいことが山ほどあり、魅力あふれる香川県ですが、今回は小さい頃から慣れ親しんできた“ことでん”について、ご紹介したいと思います。



“ことでん”こと、高松琴平電気鉄道は、讃岐電鉄・琴平電鉄・高松電気軌道が合併し、讃岐電鉄の路線だった志度線および市内線、琴平電鉄の路線だった琴平線、高松電気軌道の路線だった長尾線の3路線で運行しています。(写真は散歩途中に撮った琴平線)

ちなみに琴平線は車両が日本一揺れるとネットで話題です。小さい頃から慣れているので、日本一揺れると思っていませんでしたが、大人になってから、座席に座っていて揺れでお尻が浮いた(ジャンプしている感じ)ので、かなり揺れると自覚しました。



ことちゃん

ことでんのマスコットキャラクターとして有名なのが「ことちゃん」です。ことでんが存続の危機に陥った際に『ことでんは要るか？要らないか？』と話し合ったことに由来し、自戒の意味を込めて、2002年にイルカのマスコットキャラクターとして採用されました。

2013年にはご当地キャラ総選挙にて3位入賞を果たすほど人気になっています。ちなみに、ことちゃんは奥さんの「ことみちゃん」と娘の「ことのちゃん」の3人家族です。

瓦町FRAGでは季節毎に、ことちゃん一家が飾られることがあります。(写真は夏に瓦町FRAGで撮影しました)



● 電磁車両コトディーン

皆さんは「電磁車両コトディーン」をご存じでしょうか？

ことでんを題材に、香川のアート・グループ「野口会館」が高松琴平電気鉄道と協力し、沿線における歴史や風土をモチーフにSF劇画で香川郷土史を探究していく仮想郷土物語で、体験型イベントとしてスタンプリーが開催されています。



香川県にゆかりのある人物をモデルにした登場人物が地域のマイナーな歴史・伝説をモデルにした事件を捜査しながら、ことでの秘密計画である「電磁車輛コトディー」の謎を解き明かしていく物語で、ことちゃんをモチーフにした海人「イル人（いるじん）」なども登場します。

2019 年から定期的にイベントが開催され、昨年は高松市美術館で特別展なども開かれました。（写真は高松市美術館の特別展で撮りました）

他にも、外伝として「電磁要塞タマモジョー」や「善通寺作戦」など、様々なイベント、グッズ展開がされています。香川の歴史好きな方やS F好きな方にも楽しんでいただける面白い企画です。

● ヤドンの電車「うどん県×ヤドン号」

そして、忘れてはならないのが「ヤドンの電車」です。

2025 年 3 月から 3 年間の予定で、ポケモンのヤドンの電車「うどん県×ヤドン号」が琴平線で運行開始しました。

琴平線の瓦町駅・仏生山駅・綾川駅は駅名板が「ヤドン」モチーフに変更され、瓦町駅の琴平線下り線の発着メロディーがヤドンのテーマソング「どないやねん ヤドン」のメロディーに変更されています。



ことでんで通勤した時、たまたま乗車したのが、このヤドンの電車でした。外装も内装もヤドンだらけで、個人的にポケモンが好きという事もあり、テンションが上がって、思わず左の写真を撮ってしまいました（笑）

座席シートや壁紙がヤドンであることはもちろん、足下にはヤドンの足跡、中吊り広告や車内の路線図も全てヤドンでした。

運行時間は土日祝のみ運行表がHPに公開され、一日フリーきっぷも販売されています。

“ことでん”は『近代化産業遺産』としても認定されており、レトロな車輛や大正時代に建設された橋梁、駅舎など、歴史的にも価値が高く、過去には見たら幸せになるという金刀比羅宮とコラボした「幸せの黄色い電車」など、様々なコラボも行われています。

歴史的にも話題的にも魅力あふれるローカル電車の“ことでん”、乗ったことがない方は、ぜひ一度、乗車してみたいはいかがでしょうか？

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

広報誌「四国だより」も4回目の発行となりました。執筆していただいた皆様ありがとうございました。引き続き各社のトピックス、社員紹介、支部活動についてお届けします。

四国支部では本年度も会員の皆様の協力のもと、第60回定時総会をはじめ各種講習会の開催や道の駅への授乳施設の寄贈等社会貢献活動を実施しました。今後とも道路建設業の発展につながる取り組みを続けてまいりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。



昭和32年(1957)6月20日徳島・吉野川橋に就航したデ・ハビランド・ビーバー水上飛行機

さて、今年の表紙写真の吉野川橋は、昭和3年(1928年)12月の開通から現在に至るまで吉野川兩岸をつなぐ主要幹線道路のひとつです。

この吉野川橋南詰めには、今から60年以上前、現在の徳島空港の前身となる水上空港がありました。橋のたもとから大阪の堺をむすぶ空の道は、昭和32年(1957年)6月に就航を開始しました。高速道路も鳴門大橋や明石海峡大橋もない時代、一般庶民にとって飛行機移動はまだ高嶺の花でした。就航当日、河川敷に集まった500人を超える見物客の目には、まるで天翔ける馬のごとしであったのではないのでしょうか。

今年の干支は午、皆様にとってより一層自由に羽ばたける飛躍の一年でありますようお願いいたします。

令和8年1月

事務局長 圖子 正典

発行

一般社団法人 日本道路建設業協会四国支部

〒760-0017 高松市番町4丁目8番20号

TEL 087-861-6501 FAX 087-861-6502

E-mail shikoku-dohkenkyo@onyx.ocn.ne.jp

表紙写真 吉野川橋(徳島県徳島市)